

7. 学社融合の実践

1. 令和3年度重点目標

(1) 特性を活かした施設の運用

複合型の教育施設である総合教育センターにおいて、施設の特性を活かし、学社融合の考え方に基づく施設運用を図る。

(2) 教育センター、少年科学館及び清水地区コミュニティセンターの連携

総合教育センターを構成する教育センター、少年科学館、清水地区コミュニティセンターの3館が円滑に事業推進できるよう施設の管理・運営を行い、相互に連携を図ることで、それぞれの機能・資質を向上させ、様々な分野の人材が交流・協働することで、市民に様々な学習の場を提供する。

2. 総合教育センター



名称 佐世保市総合教育センター

所在地 佐世保市保立町12番31号

電話 76-7330 内線 7500-100~102・130~132

沿革

平成22年10月1日に開館した複合型の施設で、教職員の研修施設である「教育センター」、主に児童生徒の科学教育を推進する「少年科学館」、清水地区の地域自治及び社会教育の拠点である「清水地区コミュニティセンター」の3つの施設から構成される。

1 施設の内容

鉄筋コンクリート造3階建（一部4階建）、延べ面積4,248.01 m²、総工費約13億6,500万円

(1) 少年科学館施設 (783.33 m²)

プラネタリウム室、天体観測室、科学展示コーナー、理科室、サイエンスホール

(2) 教育センター施設 (758.88 m²)

教科書センター、パソコン研修室、教材開発室、小研修室、中研修室、相談室

(3) 清水地区コミュニティセンター (747.558 m²)

講堂、工作美術室、講座室、調理実習室、和室、図書コーナー、事務室

(4) 供用スペース (1958.242 m²)

廊下兼ロビー、事務室、視聴覚ライブラリー等

2 視聴覚ライブラリー

社会教育・学校教育において視聴覚手段を活用して学習効果を高めるとともに、教育の機会を充実させるため、視聴覚ライブラリーの整備を図る。

・教材保有状況	16 ミリフィルム	175 本
	ビデオテープ	395 本
	DVD	165 本

視聴覚教材・機材の貸し出し

・教材の利用状況（単位：本）

年度	フィルム	ビデオ	DVD	計
25	18	76	130	224
26	4	24	122	150
27	3	21	134	161
28	11	10	102	123
29	7	13	112	132
30	10	5	115	130
R元	0	10	93	103
R2	0	2	53	55

3 利用状況

利用者数（単位：人）

年度	教育センター	少年科学館	清水地区公民館	その他	計
25	21,736	50,433	45,861	4,318	122,348
26	24,739	49,512	46,743	4,056	125,050
27	19,831	49,938	42,760	3,924	116,453
28	20,841	57,248	40,223	4,550	122,862
29	23,912	56,094	41,304	4,453	125,763
30	26,674	49,481	38,543	2,760	117,458
R元	25,224	49,896	38,094	2,474	115,688
R2	20,231	16,357	17,635	985	55,208

3. 少年科学館



名 称 佐世保市少年科学館
所在地 佐世保市保立町 12 番 31 号（総合教育センター内）
電話 23-1517 内線 7500-105～108

沿革

少年科学館は旧児童文化館の後継施設として、平成 22 年 10 月 1 日、総合教育センター内に開館した。

目的

体験的な活動を通じて科学に対する興味関心を高め、児童生徒の科学教育を推進する。

1 施設の内容

(1) プラネタリウム室

延面積 122.25 m² ドーム内径 8.0m、定員 67 名

デジタルプラネタリウム

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

メディアグローブΣSE

(2) 天体観測室

面積 108.0 m² ドーム内径 5m

主鏡 高橋製作所 20 cm 屈折式望遠鏡

(3) その他

科学展示コーナー、理科室、サイエンスホール

2 事業

- (1) 主に児童及び生徒を対象とした各種科学分野の教室の開設及び研究活動の指導奨励に関すること
- (2) プラネタリウム・天体観測室の運営に関すること
- (3) 理科教育に関する資料の収集、作成及び提供に関すること
- (4) 各種関係団体、機関等との連絡及びその活動の支援に関すること

3 令和 3 年度事業計画

(1) 少年科学館運営事業

科学への興味・関心を喚起するきっかけとして「天文」「環境」「エネルギー」「自然科学」「下村脩氏」をテーマに、見て、触れて、楽しい体験ができる展示室の充実

(2) プラネタリウム・天体観測室事業

① プラネタリウム各種番組の投映

○学校等団体用投映

学校向けに学年や学習に応じた内容で構成

○学習投映

天文に関する基礎的な内容で構成

○一般投映

市民の天体への興味・関心を高める内容で構成

② 天体観望会

○市民を対象として主に土曜日に実施

(3) 科学大好き事業

① 科学大好き教室

「夏休み子ども科学教室」「チャレンジ科学教室」

② 少年科学教室

「楽しい実験」「天文」「楽しい電気」等 6 教室

③ 科学イベント

「こどもの日 GO ! GO ! 科学教室」

「サイエンス広場で遊ぼう」

④ 下村脩ジュニア科学賞 S A S E B O

科学的発想に基づき、発見・観察・実験・調査などをやってまとめた作品を募集・審査し優秀な作品を表彰

⑤ 小・中学校の学校理科支援

学習内容に応じた理科実験プログラムの実施

⑥ サイエンスショー

科学への興味・関心を高める実験ショーの実施

⑦ おもしろ工作ひろば

科学への興味・関心を高める科学工作の実施

(4) 理科学習支援事業

市内小学校 4 年生を対象とした少年科学館理科学習の実施

① プラネタリウムでの季節の星座や星の明るさ、動き等についての天文学習

② 天体観測室での月や太陽の観察

③ サイエンスホールでのサイエンスショーショー

④ 理科室での理科学習

(5) その他

① 3 館連携事業

（教育センター・清水地区コミュニティセンター）

② 学校融合事業

4 少年科学館事業参加者数

平成 28 年度	64, 308 人
平成 29 年度	62, 326 人
平成 30 年度	58, 354 人
令和 元年度	53, 214 人
令和 2 年度	26, 640 人

(2) 青少年非行防止推進事業

① 非行防止

表①-1 補導件数の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2
男子	7	5	12	0	3
女子	0	0	2	0	1
合計	7	5	14	0	4

表①-2 補導状況（「愛のひと声」を含む）（令和2年度）

	総 数			学識別							
	男	女	計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職	無職	計	
飲 酒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
喫 煙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬 物 亂 用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
乱暴・けんか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金品不正要求	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
性的いたずら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
暴 行 為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家 出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無 断 外 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
深夜はいがい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
怠 学	1	1	2	0	2	0	0	0	0	2	
不健全性行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
不 良 交 友	2	0	2	0	1	1	0	0	0	2	
不 健 全 娯 楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	1,976	1,692	3,668	1,446	1,039	1,119	16	34	14	3,668	
その他の内容	① 交通違反	21	5	26	9	8	8	0	1	0	26
	・自転車	7	1	8	4	1	3	0	0	0	8
	・自転車以外	14	4	18	5	7	5	0	1	0	18
	②服装の乱れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③危険な遊び	4	0	4	3	1	0	0	0	0	4
	④外出時間注意	87	86	173	4	24	145	0	0	0	173
	⑤買い物食い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥ゲームセンター等	27	54	81	2	20	56	0	2	1	81
	⑦男女交際	32	33	65	0	11	54	0	0	0	65
	⑧そ の 他	1,805	1,514	3319	1,428	975	856	16	31	13	3,319
計		1,979	1,693	3,672	1,446	1,042	1,120	16	34	14	3,672

*その他の内容における⑧その他とは主に事件・事故・非行等未然防止を目的とした青少年への見守りの声かけ（愛のひと声）

② 環境浄化健全育成

表②-1 白ポスト（有害図書類）回収数の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2
回収数	6,068	5,075	5,926	5,419	5,531

表②-2 白ポスト（有害図書類）回収数内訳（令和2年度）

種類	本類	DVD類	その他	合計
回収数	1,296	3,676	559	5,531

表②-3 立入調査店舗数の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2
店舗数	149	104	148	170	240

表②-4 立入調査店舗数及び指導・協力依頼店舗数

（令和2年度）

業種	対象	調査	業種	対象	調査
書店	16	16	映画館	1	1
コンビニ	105	105	インターネットカフェ	1	1
カラオケ	10	10	ホームセンター	10	10
ビデオ店	5	5	がん具店	5	5
携帯電話販売	48	48	刃物・雑貨店	5	5
ゲームセンター等	7	7	薬局	27	27
合計				240	240

4. 教育センター



<研修の様子>

名 称 佐世保市教育センター

所在地 佐世保市保立町 12 番 31 号（総合教育センター内）

電話 76-7331 内線 7500-109~111、113

沿革

教育センターは昭和 44 年 4 月 1 日佐世保市教育研究所と佐世保市理科センターを統合し天神山に開設され、平成 22 年 10 月 1 日の総合教育センター供用開始に伴い、天神 5 丁目から保立町に移転した。

目的

教育に関する研究調査及び教育関係職員の研修を行い、もって教育の進歩発展に資する。

1 施設の内容

(1) 研修室

中研修室 1・2・3、小研修室 1・2、

パソコン研修室

(2) 教科書センター

(3) 教材開発室

(4) 相談室

2 事業

- (1) 学校教育に関する研究調査に関すること
- (2) 教育資料の収集、刊行及び活用に関すること
- (3) 教育関係職員の研修に関すること
- (4) 教職員に対する教育相談に関すること
- (5) 各種教科書、図書及び資料の整備並びに閲覧に関すること

3 令和 3 年度事業計画

(1) 研究調査

教育センター方針を踏まえた実践的研究及び調査を行う。

① 「小中学校理科」（2 年次）

主題「理科の見方・考え方を働かせ、未来を創造する力を育む理科教育」

～主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善～

○研究のまとめ・リーフレット作成

○長崎県内教育研究所連盟教育フォーラムにて発表
表

○佐世保市教育センター教育フォーラムにて発表

② 「小中学校社会」（1 年次）

○仮説検証のための実践授業及び研究協議

(2) 教職員の研修活動の推進

教職員の資質能力及び授業力向上のため、教科・領域に関わる研修を実施するとともに、教育課程実施上の諸課題を解決し実践するための基礎的・基本的な研修を行う。

① 経年研修…教職員の資質向上のため、法定研修をはじめとする悉皆研修を行う。

初任者研修、2~5 年目研修、6~10 年目研修、
中堅教諭等資質向上研修、16 年目研修

② 職能研修…教育課程実施上の諸課題を解決し実践するため各主任等に対し、基礎的・基本的な研修を行う。

悉皆	学校経営研修、学校運営研修、教務主任研修、研究主任研修、生活指導主任・生徒指導主事研修、道徳教育推進教師研修、特別支援教育コーディネーター研修、通級指導教室担当者研修、少人数指導支援講師研修
希望	学校経営参画研修、学校運営参画研修、特別支援学級担任研修、臨時の任用教員研修、出前研修

③ 課題研修…学校教育推進上の諸課題に対応した内容の研修を行う。

小学校外国語、中学校英語、小学校外国語・中学校英語連携、英会話、道徳教育、生徒指導、特別支援教育、教育相談、不祥事防止対策、言語文化、SDGs、訪問相談
シリーズ研修
<授業づくり>授業づくり + 公開授業
・小中学校 国語科、算数科、数学科
<学級づくり>学級経営等

- ④ 授業改善研修…授業力向上のための実践的研修を行う。

ア 授業公開…研究員等による研究授業を位置付けた研修を行う。

研究主題	内 容
自らの未来をつくり出す資質・能力の育成	小学校（国語科、算数科、外国語科、特別の教科道德）
～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～	中学校（国語科、数学科、英語科、特別の教科道德）
	小中学校（特別支援教育、情報教育）
	※実践協力員も加わる。

イ 講義・演習…外部講師等を招へいしての講義や演習を中心とした研修を行う。



<外国語研修の様子>

(3) 教育相談の充実

- ① 小・中学校及び義務教育学校の教職員を対象にした教育に関する相談を行う。
- ② 必要に応じて、学校及び関係機関と連携して対応する。

(4) 教育情報の提供

- ① 研究成果の発表を行う。
- 佐世保市教育センター教育フォーラムでの発表
- ② 研究成果の教育現場への還元を行う。
- 研究リーフレット等の発行
 - 教育センターだよりの発行
 - 教育関係資料の収集・整備
 - 教科書センターの管理・運営
 - 教材開発室の整備・充実



<教材開発室>

(5) 教職員の自主研修の支援

- ① 自主研究の支援を行う。
- ② 教材開発室の充実を行う。
- ③ 教育情報の収集と発信を行う。
- ④ 後継者育成への支援を行う。



<佐世保学び【場】バーガー>

(6) その他

- ① 小・中学校長会との連携を行う。
- ② 小・中教育研究会との連携を行う。
- ③ 関連機関及び3館（教育センター、少年科学館、清水地区コミュニティセンター）連携を行う。